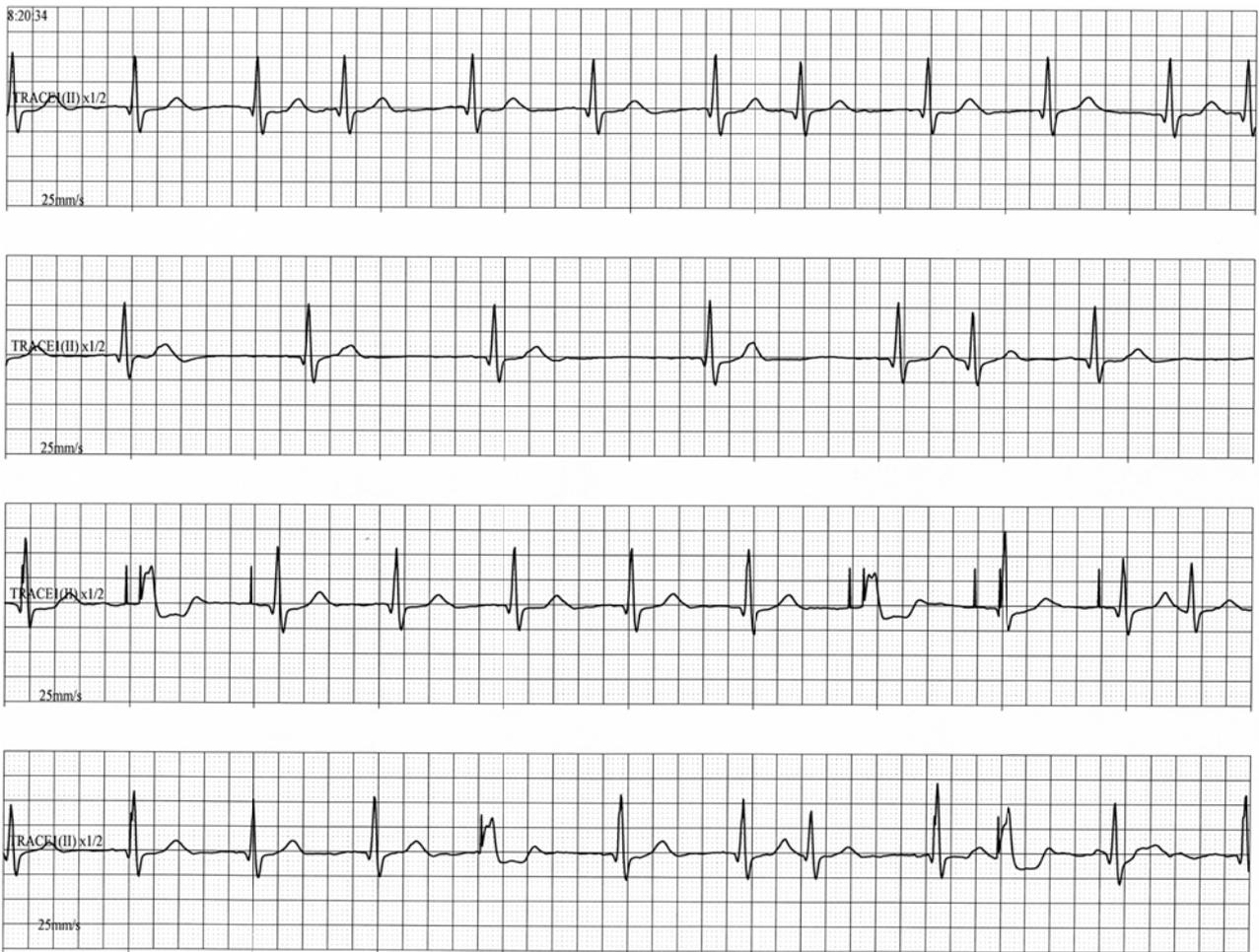


# 深読み長読みセッション PM症例検討①

## HR40bpm台の徐脈となったSafe-Rの症例 倉敷中央病院 臨床工学部 朝原 康介

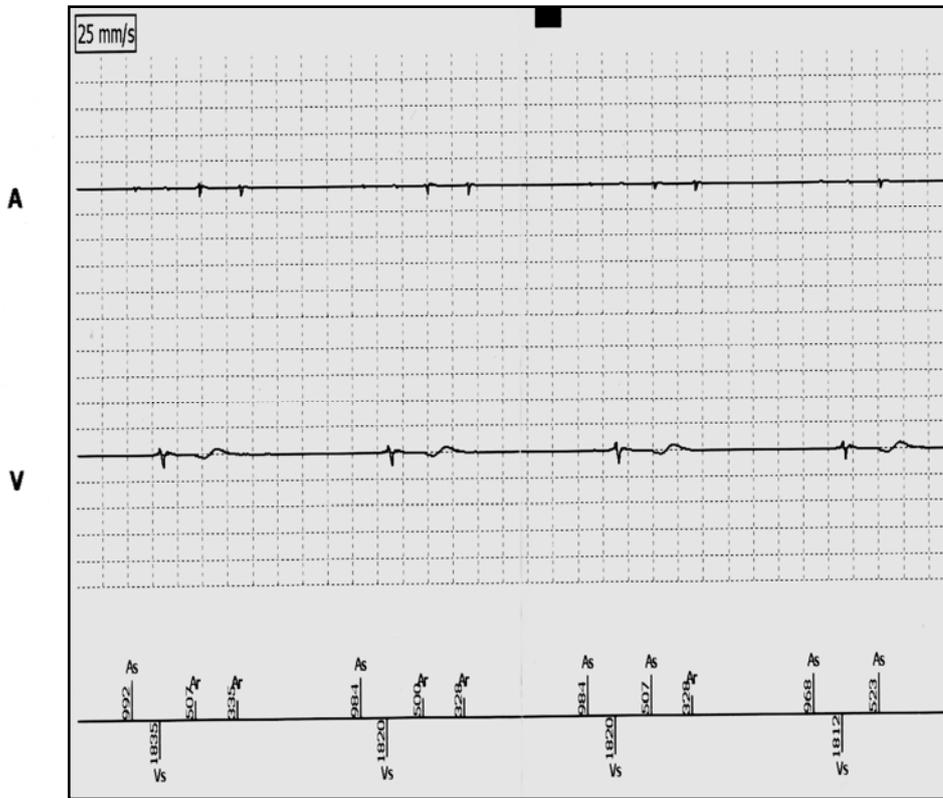
- ① 適応疾患  
2012年4月に他院にて洞不全症候群でデュアルチャンバ型ペースメーカーを植え込まれた、88歳男性。
  - ② 心拍や心機能に関する情報  
2014年2月に心不全にて当院入院。  
モニター心電図にて一過性にHR40bpm台の徐脈になる(図1)との連絡。  
ペースメーカチェックにてA Burst Eventにて以下の心内心電図を認めた。(図2a, 2b)
  - ③ デバイス本体の情報  
PM本体: Sorin社製 Reply DR  
Aリード: 日本ライフライン社製 J-Line Screwvine 52SEP  
Vリード: 日本ライフライン社製 J-Line Screwvine 58SEP
  - ④ パラメーター設定状況  
Mode: AAI<->DDD(Safe-R)、Lower rate: 60bpm、Upper rate: 130bpm、  
Paced AV delay: 200ms、Sensed AV delay: 170ms。  
Safe-R詳細設定 AVD I: switch: Exercise、Long PR: 350ms (Max, Minともに)、Max Pause 2S。
- 徐脈となった原因と対処を議論したい。



(図1 入院時心電図)

# 深読み長読みセッション PM症例検討①

HR40bpm台の徐脈となったSafe-Rの症例  
倉敷中央病院 臨床工学部 朝原 康介



(図2a 心内心電図)



(図2b 心内心電図)